

# 医療法人 八誠会

# もりそう教育だより

令和5年7月発行 (No.11)

発行/もりやま総合心療病院

看護部

TEL052-791-2133



## インターンシップの夏がやってきました

当院は、緑に囲まれているためでしょうか、毎年夏になると、ものすごく蝉が鳴きます。今年も、朝から「ジリジリジリ」「ミンミン」と元気よく鳴いています。蝉の抜け殻がそこかしこにいて、みんな一生懸命生きているんだなあと思います。新型コロナウイルスも5類に変わり、今年は平常の看護を取り戻すべく、これまで縮小してきた様々な活動を再開しております。夏と言えば、夏休み。夏休みと言えば、インターンシップ。ここ数年は、控えていたインターンシップを今年は、開催いたします！就職活動をしている学生の皆さん、職場を変わろうと思っている看護師の皆さん、ぜひ、当院にお越しいただき、どんな病院なのか、どんな看護をしているのか、実際に病棟に入って感じていただければと思います。

開催日は、①8月2日(水)、②8月4日(金)、③8月24日(木)の3日間です。ご都合がつかない場合には、個別の見学会にも対応しております。ぜひ、たくさんの方にご参加いただければと思います。ご希望の方は、どうぞ看護部長の林(m-hayashi@8seikai.jp または 052-791-2133)までご連絡ください。

## 学会で学ぼう

### 【日精看の全国大会に行ってきました】

春と秋は看護の学会シーズンで、様々な学会が開催されます。今年は、札幌で開催された日精看の全国大会に研究発表に行ってきました。発表者は今年5年目の加納さん、テーマは「終末期患者の意思決定と看取りケアに関する精神科看護師が抱えるジレンマ」です。この研究で、ジレンマの解消のためには、終末期のケアや看取り後のカンファレンスが大事だと考えた加納さんは、引き続き、カンファレンスを実施してどのような効果があるかを調査する介入研究を実施しています。現場の課題を明らかにして、それを改善するために継続的に研究に取り組むのは素晴らしいことだと思います。そして、学会で成果を発表して、他院の方々の取り組みを学ぶというのは、有意義で楽しい時間でした。

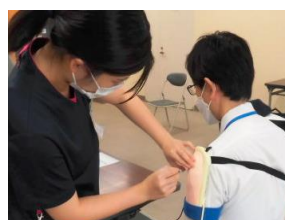
加納さんの他にも、秋の院外発表にエントリーしている人、今年研究に取り組んでいる人もいて、皆さん、よりよい実践、働きやすい職場づくりのため、それぞれの部署の特徴に合わせた研究を行っています。昨今、虐待防止が叫ばれていますが、学びを深めて看護のやりがいを感じられること、外の風に触れて自分たちの実践を振り返ることがとても大事なのではないかと思っています。



## 院内研修も充実しました

### 【院内研修】

数年ぶりに外部講師による研修が開催されました。6 月には株式会社光洋「オムツの正しい当て方」を 2 日間、7 月には大塚製薬「エブリファイ・LAI 説明会」が行われました。院内教育では「医療と人権」「診療報酬」、管理者研修「看護記録と診療報酬」、実習指導者研修や OJT の指導者研修などコロナの影響で縮小していた研修が本格的に再開しました。参加者からは「対面式の研修は久しぶりで楽しかった。」「Zoom 研修もいいけど、直接質問でき嬉しかった。」などの声が多く聞かれています。今後も色々な研修を予定しています、通常に戻りながらも感染対策にも配慮した研修を行っていきます。



「オムツの正しい当て方」2023 年 6 月 7 日、14 日  
株式会社 光洋さんによる研修会

「エブリファイ・LAI 説明会」2023 年 7 月 12 日  
大塚製薬さんによる研修会

## 認知症認定看護師がやってきました

当院には、精神看護専門看護師、精神科医学会と精神科看護協会の認定看護師で構成する「リソースナースの会」があり、それぞれの領域で活動しておりますが、6 月から認知症認定看護師の鷲見(わしみ)さんが、仲間に加わりました。鷲見さんは、もともと当院在職中に認定を取得しましたが、しばらく武者修行に出かけ、一回り大きくなって戻ってきてくれました。当院は、名古屋市より認知症疾患医療センターの委託を受けており、認知症に関する相談・研修などを行っています。地域の皆さんと連携しながら、末永く活躍していただきたいと願っています。

### 再開

新型コロナウイルス感染症も 5 類に変わり、院内で行われる研修も再開されました。数年前には日常的に行われていた研修ですが、いざ再開となると研修を準備する側としては頭をフル回転し、数年前を思い出しつつ準備に勤しむ今日この頃です。「再開」は中断していたものを再び始めること、または、再び始まることを意味しています。再開のきっかけいい言い方はないかと検索したところ、「リスタート」「新たな幕開け」「新たな始まり」「新章開始」「レジューム」など多くの言い方が紹介されていました。新型コロナウイルス感染症の拡大で、中断していたことや、実現できなかったことがたくさんあるのではないのでしょうか。医療従事者として感染対策には気をつけながらも、色々なことを再始動できるといいと思います。

看護教育主任 小川さなえ（精神科医学会認定看護師）